

---

# 第13回ペースメーカーフォローアップ研究会

## プログラム

---

### 第1会場 5階小ホール1

#### 〇9:40~9:50 開会挨拶

第13回ペースメーカーフォローアップ研究会 当番世話人  
山本 英樹 (岡崎市民病院 臨床工学室)

#### 〇9:50~10:50 教育セッション

##### 「MRI 対応ペースメーカー」 ~各社の条件を理解し MRI 検査に対応する~

司会: 伊藤 朋晃 (小倉記念病院 検査技師部工学課)  
解説者: 各メーカー担当者  
コメンテーター: 渡辺 健彦 (シーメンス・ジャパン株式会社 ヘルスケアセクター  
イメージ&セラピー事業本部 MR ビジネスマネジメント部)  
高垣 勝 (滋賀県立成人病センター 臨床工学部)

#### 〇11:00~12:15 一般演題 II

座長: 笹岡 俊介 (済生会横浜市東部病院 臨床工学部)  
関本 崇 (大阪府済生会茨木病院 臨床工学科)

- ① VT zone 設定を OFF にしているにもかかわらず VT 治療 (ATP) が施行された 1 例  
神谷 典男 (聖隷浜松病院 臨床工学室)
- ② T 波オーバーセンシング回避アルゴリズムにても回避し得なかった高カリウム血症による ICD 誤作動症例  
領毛 一雅 (滋賀県立成人病センター 臨床工学部)
- ③ ICD 植え込み後、経過中に sensing integrity counter が上昇した一例  
白崎 頌人 (倉敷中央病院 臨床検査科)
- ④ SJM 社製 4 極リード Quartet の使用経験  
長井 健泰 (大垣市民病院 臨床工学技術科)
- ⑤ SJM 社製ペースメーカー (PM) の Bipolar による ventricular auto capture (VAC) の評価  
米村 友秀 (済生会熊本病院 臨床工学部)

⑥ 当センターにおけるペースメーカー関連のトラブルシューティングについて

菊池 佳峰 (大阪府立急性期総合医療センター 医療技術部臨床工学室)

○12 : 30~13 : 30 ランチョンセミナー A

「デバイス感染の管理と対策」

講師：成田 裕司先生

名古屋大学大学院 医学系研究科 心臓外科学 特任講師 医学博士

司会：山本 英樹 (岡崎市民病院 臨床工学室)

共催：ディーブイエックス株式会社

○13 : 40~15 : 10 シンポジウム

「植込みデバイス患者さんの心理」

～個々の患者さんにあつた対応のカスタマイズ～

座長：高垣 勝 (滋賀県立成人病センター 臨床工学部)

野村知由樹 (医誠会 都志見病院 臨床工学部)

シンポジスト：

石原 俊一 (文教大学人間科学部 心理学科 教授)

繁平 和子 (国立循環器病研究センター 臨床検査部 看護師)

笹岡 俊介 (済生会横浜市東部病院 臨床工学部)

中山真由美 (JA 長野厚生連北信総合病院 臨床工学科)

野村 浩史 (日本 ICD の会)

○15 : 15~16 : 15 一般演題 IV

座長：矢島真知子 (琉球大学医学部附属病院 ME 機器センター)

開 正宏 (名古屋第一赤十字病院 臨床工学課)

① 変動する室房伝導によりペースメーカー起因性頻拍の対応に苦慮した完全房室ブロックの1症例

山下 友樹 (京都桂病院 臨床工学科)

② 心房自動出力調節機能を考慮した Atrial pacing latency 症例に対する機種選定

工藤 幸雄 (特定医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院 臨床工学部)

③ Closed Loop Stimulation によるレート上昇時に Safty Pacing の入らなかった Crosstalk の一症例

日比野倫子 (名古屋大学医学部附属病院 臨床工学技術部)

④ 心室セーフティーペーシング (VSP) が Spike on T 様ペーシングとなった一例

祝迫 周平 (金沢大学附属病院 ME 機器管理室)

- ⑤ 房室ブロック患者における AAI<>DDD モードによる心室ペーシング最少化機能の効果判定  
福島 基弘 (倉敷中央病院 臨床検査科)

## 第2会場 5階小ホール2

### 09:50~10:50 一般演題 I

座長：新田 功児 (一宮市立市民病院 医療技術局 臨床工学室)  
高橋 美恵 (青梅市立総合病院 臨床工学科)

- ① 伝導遅延を伴った閾値上昇により右室リードの再固定が必要となった一例  
服部 篤史 (愛知厚生連 海南病院 臨床工学技術科)
- ② 植込み1年以上経過後も心室ペーシング閾値が高値を推移し続けている DDD ペースメーカー症例  
長見 英治 (労働者健康福祉機構 千葉労災病院 臨床工学部)
- ③ 体位が植込みデバイス測定値に影響を与えた一例  
宮本 聡史 (広島大学病院 診療支援部 臨床工学部門)
- ④ 先天性完全房室ブロックの新生児に対しペースメーカ植込み術を施行した1症例  
広瀬 徳勝 (聖隷浜松病院 臨床工学室)
- ⑤ 当院の OptiSenseOptim Lead 遠隔期 P 波高値の検討  
馬場 由理 (岡崎市民病院 医療技術局 臨床工学室)

### 011:00~12:15 ワークショップ

#### 「不具合事象とその対応」

座長：堀 美郎 (済生会熊本病院 臨床工学部)  
前川 正樹 (おもと会大浜第一病院 診療技術部 臨床工学科)

- ① Medtronic 社 Fidelis リード植え込み患者に対する当院での対応  
一柳 宏 (名古屋大学医学部附属病院 臨床工学技術部)
- ② SJM 社 Riata リード植え込み患者に対する当院での対応  
井野 裕也 (京都桂病院 臨床工学科)
- ③ Medtronic 社 EnRhythm 植込み患者に対する当院での対応  
高橋 勝行 (倉敷中央病院 臨床検査科)

○12 : 30~13 : 30 ランチョンセミナー B

「デバイストラブルとその成因」

講師：豊島 健 先生

USCI ホールディングス(株) CRDM ビジネスユニット テクニカルフェロー

日本メドトロニック(株) 臨床開発・薬事統括本部 兼

メドトロニック・エデュケーション&トレーニングセンター 上席顧問

埼玉医科大学 保健医療学部 医用生体工学科 非常勤講師

司会：古川 博一 (手稲溪仁会病院 臨床工学部)

共催：USCI ホールディングス株式会社

○13 : 40~14 : 40 一般演題 III

座長：神谷 典男 (聖隷浜松病院 臨床工学室)

寺村 総 (草津総合病院 臨床工学科)

① デバイス植込み患者のMRI 検査の経験

谷津 和彦 (兵庫県立姫路循環器病センター ME 管理室)

② Medtronic 社製条件付き MRI 対応ペースメーカーにおける当院の対応

杉浦 裕之 (名古屋第二赤十字病院 第二臨床工学課)

③ MRI 対応ペースメーカーに対する院内撮像手順の作成

市川 祐太 (佐久総合病院 臨床工学科)

④ 回路基板不良により植え込み 6 カ月後に早期電池消耗を来した 1 例

森川 宏志 (大垣市民病院 臨床工学技術科)

⑤ ペースメーカーバッテリートラブルを経験した 2 症例

清田由佳里 (済生会熊本病院 臨床工学部)

○15 : 00~16 : 00 みんなで考える症例検討 ~深読み・長読みセッション~

座長：森井 淳夫 (滋賀県立成人病センター 臨床工学部)

プレゼンター：辻 善範 ICD 担当 (大垣市民病院 臨床工学技術科)

熊谷 英明 PM 担当 (昭和伊南総合病院 臨床工学室)

コメンテーター：竹中 祐樹 (岡山大学病院 循環器内科 臨床工学技士)

杉浦 裕之 (名古屋第二赤十字病院 臨床工学技術科)

早坂 啓 (仙台循環器病センター 臨床工学科)

○16 : 00～16 : 15

**閉会挨拶**

第13回ペースメーカーフォローアップ研究会 当番世話人

山本 英樹 (岡崎市民病院 臨床工学室)

第14回ペースメーカーフォローアップ研究会 当番世話人

高橋 勝行 (倉敷中央病院 臨床検査科)